

日中韓文化大臣会合
青島行動プログラム（2015年～2017年）
－ 骨子 －

●はじめに

- ・日中韓3か国の文化大臣が出席し、第7回日中韓文化大臣会合を中国（青島）で開催し、2015年～2017年における3か国間の文化交流・協力を推進していくための行動プログラムを策定、署名。

●東アジア文化都市を通じた文化交流の深化と発展

- ・「東アジア文化都市」事業を引き続き実施するとともに、将来にわたる東アジア文化都市間の連携促進を視野に入れ、当該都市間の実務的協力の促進等を図る。
- ・2016年の東アジア文化都市として、奈良市（日本）、寧波市（中国）、済州特別自治道（韓国）を決定。
- ・東アジア文化都市の国際的交流、特にASEAN文化都市との交流・連携を支持・推進。

●日中韓芸術祭

- ・日中韓芸術祭が、3か国の奥深い伝統と創造性に富む現代文化を発信し、東アジアの文化の理解を深めるために重要な役割を果たしていると認識。
- ・「上海行動プログラム」に日中韓芸術祭の域外開催について言及があることに留意し、その開催の可能性について引き続き協議。

●文化産業分野の交流と協力の更なる強化

- ・文化産業分野の交流・協力を進め、その発展を支持し、著作権の保護について協調して取り組む。

●文化芸術振興分野における交流の推進

- ・文化芸術振興における3か国間の交流・対話の強化及び知見の共有による社会活力の喚起の重要性を認識。
- ・3か国の国立博物館で行われる共同企画展の実施等の連携・協力を歓迎。

●文化遺産の保護と継承の深化

- ・世界の国々における有形・無形の文化遺産の保護・継承の取組に積極的に貢献。
- ・3か国における無形文化遺産の保護と継承に関する交流・協力を継続し、ユネスコアジア太平洋無形文化遺産コカテゴリー2センターにおける調査研究、人材育成、情報ネットワークの構築を行う。

●三国間の青少年交流の奨励及び支持

- ・3か国の青少年の間の相互理解を深めるため、青少年の文化交流活動を積極的に奨励・支持。

●文化の力による社会問題の解決

- ・文化交流は人と人の心をつなぐ絆であり、文化の力は絶えずプラスのエネルギーを放つ無形の原動力。文化の力を多元的な社会問題に幅広く活用。

●その他

- ・「東アジア文化都市」、「日中韓芸術祭」、「日中韓文化芸術教育フォーラム」、「東アジア文化交流使」などの事業を引き続き実施。
- ・2018年のピョンチャン（平昌）、2020年の東京、2022年の北京でそれぞれ開催されるオリンピック・パラリンピックの機会に、世界の人々を東アジアの文化で魅了するための取組に向けて協力。
- ・次回第8回日中韓文化大臣会合については、韓国において開催。